

世界一なが〜い

新潟
関川村

大蛇まつり

2025年は巳年。蛇は、古くから、神としてまつられたり、八岐大蛇のような怪物の伝説が伝えられてきました。現代では、巨大な蛇をかついで練り歩く村も。その背景にどんな伝説があるのか。日本に古くから伝えられる蛇信仰の起源とは…。

(手島陽子)

82・8歳のわら作りの大蛇が、体を完成させます。愛嬌ある練り歩く新潟県関川村(約500人)。ギネスブックに認定された世界一の長さです。大蛇は、この長さが問題になった。蛇まつりが開かれるのは毎年8月。1988年に始まり、昨年は34回目でした。わら作りの大蛇の企画を考案したのは高瀬温泉旅館「山路」を営む須貝正春さん。「村全体を巻き込んだ祭りをやろうと始まった」といいます。当時約8000人いた村民全員が参加する「喜々喜(じゃんけん)大会」や大蛇伝説の劇など、全村民が関わりました。

わら作りの大蛇は、54ある村の集落が、竹とわらで円筒形を1個ずつ作り、つないで長い胴

82・8歳の長さは、村で起きた羽越水害(77年)に由来します。須貝さんは当時、中学生。自宅は1・5メートル浸水しました。2階から隣の旅館に屋根伝いに逃げ、屋根の上でかごをかぶって雨をしのぎました。村では、家ごと流された人も32人が亡くなりました。記憶に残すため、その日の8月28日を大蛇の長さとしたのです。関川村には「大里峠」と呼ばれる大蛇の伝説がありました。



縄文から現代へヘビにこめた庶民の祈り

昔、蛇喰村におった忠蔵が、阿古屋の大蛇を退治した。忠蔵は13の鱗に分けて蛇を味噌漬にしたがねえ。妻のおりのがこっそり食べると、大蛇になってしまった。あるとき旅の座頭が大里峠で琵琶を弾きはじめた。すると、大蛇が現れて、川をせき止めて村一帯を沈め、湖にする。と話しだ。座頭は庄屋にその話をした。庄屋は村人たちと大きなきをいっばいつて、大里峠あたり一面に打ち付けて大蛇



稲垣さん

稲垣さんは「民話をたどると、最初は大蛇ではなく普通の蛇を大量にとって13樽分の味噌漬にしたと書かれていました。でも、それは自然破壊だと思えます。蛇はネズミを捕って穀物被害も防ぎますから。自然の恵みに感謝し、獲物を根こそぎとったりしてはならない、自然と共に生きていくべき」といいます。

稲垣さんは、女性に化けた蛇が小泉小太郎を産み落としたとき、嵐が起きたという伝承があります。「こつた民話には、命が生まれることへの驚き、命のありよう、男女の性のあり方への庶民の思いが表れています。蛇信仰には、生死と再生への思いが込められている。命と水への庶民の祈りが息づいているのです」。



村で作られた手作りの絵本『昔ばなし 大蛇峠』

「大蛇が村を沈めると言ったのは、恨みではなく、自然破壊が引き起こす災害への警鐘だったのではないだろうか。この話するのは村の歴史資料を展示する『せきかわ歴史とみちの館』の館長・安久昭男さんです。この民話は『東海道中膝栗毛』で知られる『返舎』の九の書物にも収録されています」。

稲垣さんは「民話をたどると、最初は大蛇ではなく普通の蛇を大量にとって13樽分の味噌漬にしたと書かれていました。でも、それは自然破壊だと思えます。蛇はネズミを捕って穀物被害も防ぎますから。自然の恵みに感謝し、獲物を根こそぎとったりしてはならない、自然と共に生きていくべき」といいます。



わら作りの大蛇の頭を作った須貝さん(左)と所蔵している「歴史とみちの博物館」館長の安久さん=2024年12月、新潟県関川村「歴史とみちの館」



藤内遺跡出土(白土蔵出土) (長野・井戸尻考古館蔵)

竜は権力 蛇は庶民

「日本には古来、蛇信仰が農民の生活と深く結びついていて、竜信仰は後から入ってきたものなんです。こう話すのは、長野県にある塩田平民話研究所の稲垣勇一さんです。『新潟は冬が長く豊かな民話がある地域です。』大里峠も、天災を避けたという祈りと結びついて語り伝えられたのでしょう」。

蛇の伝承に注目を集めた稲垣さん。『日本の蛇信仰は縄文時代から始まったと考えられます。中国大陸から渡ってきたと思われま』。

「竜を信仰する文化は漢民族の発展とともに広がった」と稲垣さん。「蛇を信仰していた周辺民族は雲南地方に追われ、ポトピールのように日本に渡った人もいたのではないかと」。

縄文時代の遺跡からは蛇の文様が描かれた土器や、頭上に蛇を巻いた女性像の土偶が出土しています。



NO NUKES

核兵器も
原発も
ない世界に

子どもの未来のために
世界中の子どもみんなに
平和としあわせを

2025年いわさきちひろ大判カレンダー
表紙図版使用
©立花ひさの少年



いわさきちひろ作品普及会

<https://www.chihiro-fukyu.co.jp>

いわさきちひろオンラインショップ で検索してください

〒167-0043 東京都杉並区上荻2-31-12

